



株式会社カプコン
(東証・大証一部:9697)

2013年3月期第2四半期
決算短信補足資料

将来の見通しに関する注意事項

この資料に記載されている経営戦略、計画や見通しなどは、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは大きく変動する場合があります。

また、当社を含め当業界は、ユーザーニーズの多様化など、市場環境の変化によっては業績が大きく振れる可能性があります。

業績等の変動要因としては、①売上高の過半数を占める家庭用ゲームソフトのヒットの有無や販売本数の多寡、②家庭用ゲームソフト開発の進捗状況、③家庭用ゲーム機の普及動向、④海外市場の売上状況、⑤株価、為替動向、⑥他社との開発、販売、業務提携、⑦市場環境の変化などが挙げられます。

また、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

< 目次 >

1. 連結損益計算書 ……P3
2. 連結貸借対照表 ……P7
3. 連結キャッシュ・フロー計算書 ……P9

1. 2013年3月期第2四半期 連結損益計算書

2013年3月期第2四半期 連結損益計算書

■ 2011/9実績 対 2012/9実績

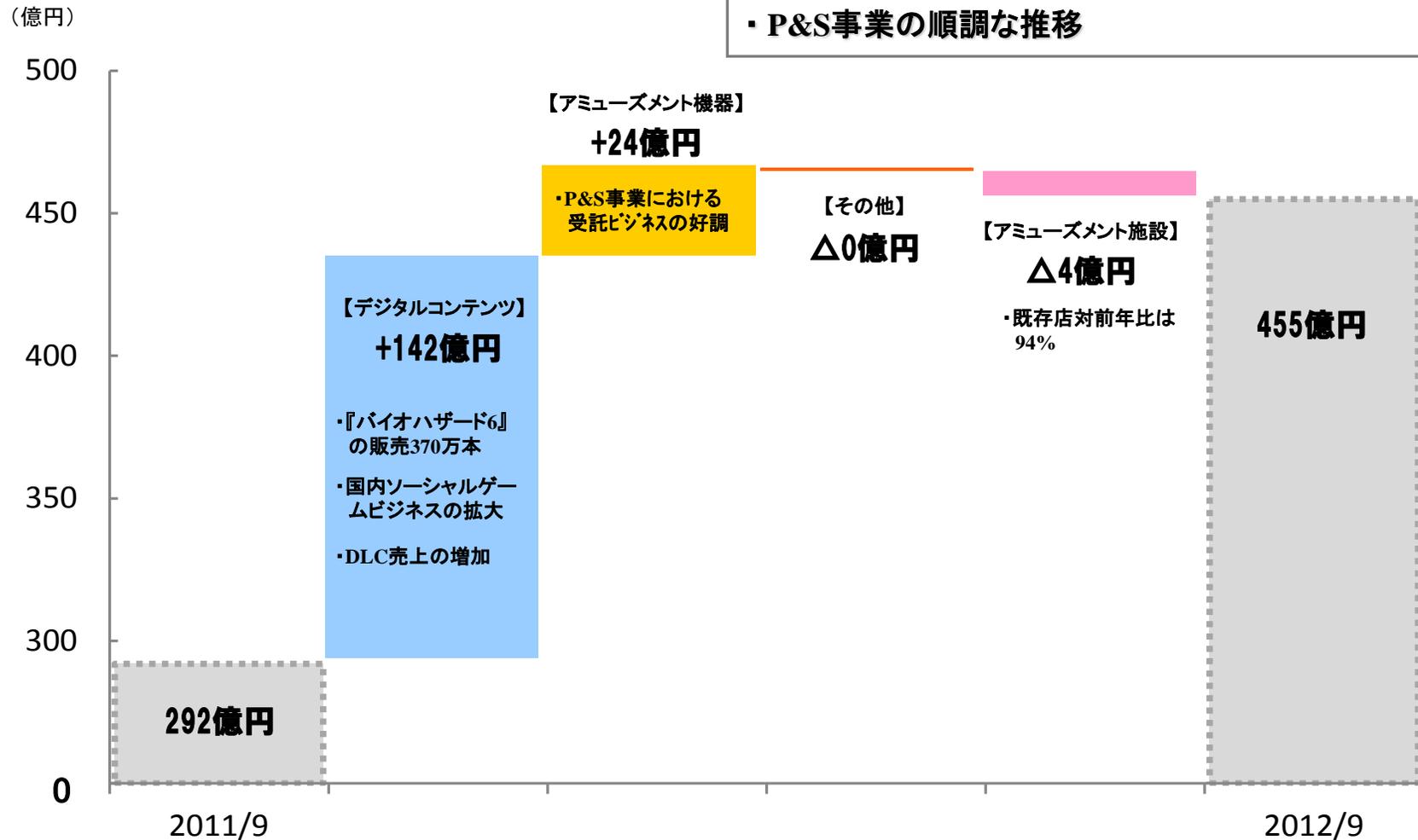
(単位:百万円)

	2011/9	2012/9	増減
売上高	29,252	45,538	16,286
営業利益	2,782	6,515	3,733
経常利益	1,907	6,076	4,169
四半期純利益	906	4,125	3,219

- 第2四半期の連結業績は計画に対し順調な進捗
- デジタルコンテンツ事業の好調を主因とし、すべての項目において前期比で大幅な増収増益
- 全項目において当社第2四半期業績の過去最高記録を達成

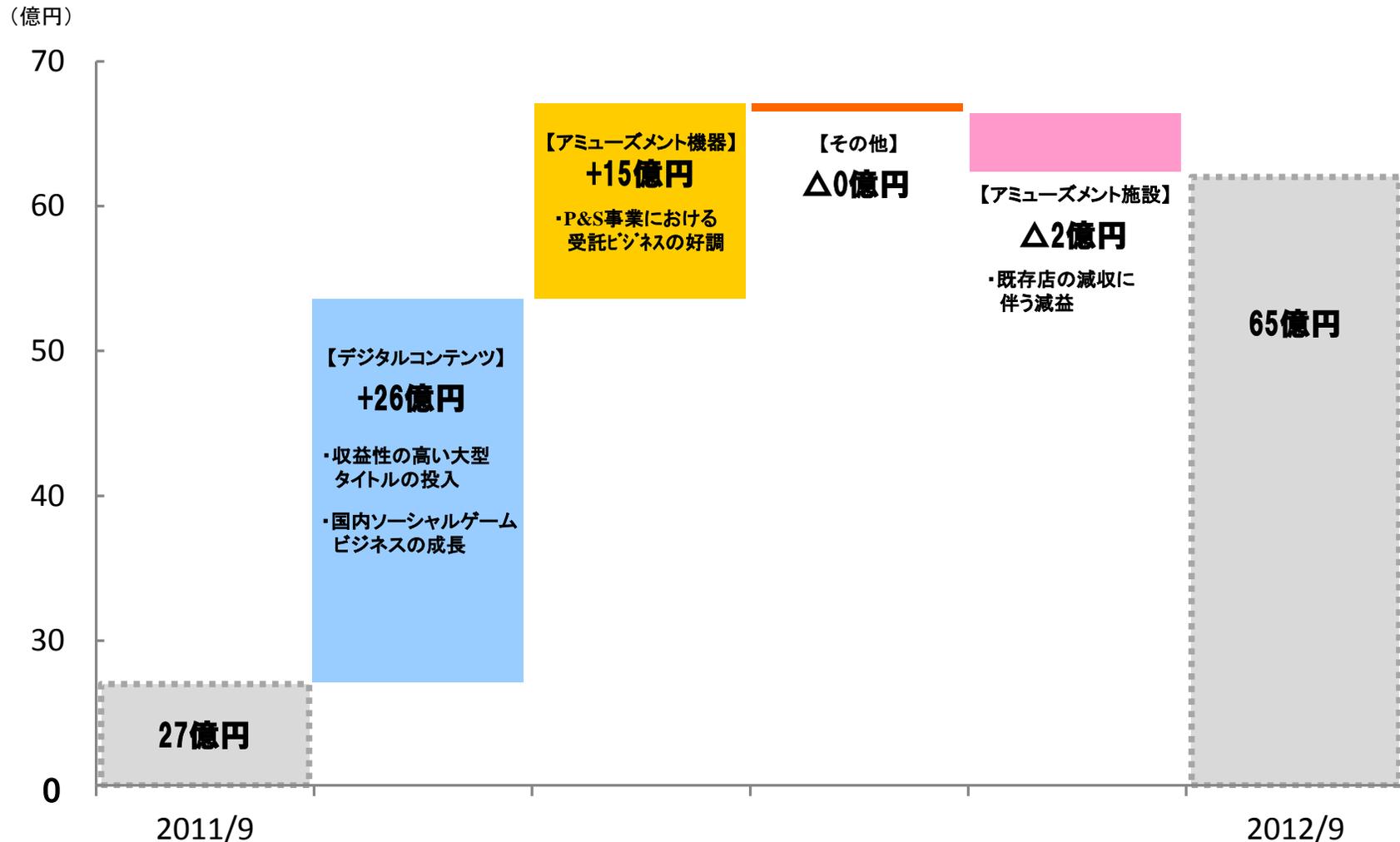
2012/9 売上高増減要因

- ・ デジタルコンテンツ事業での大型タイトル発売およびオンライン事業の成長による大幅増収
- ・ P&S事業の順調な推移



■ 2012/9 営業利益増減要因

・主にデジタルコンテンツ事業の好調により、大幅増益



2. 2013年3月期第2四半期 連結貸借対照表

2013年3月期第2四半期 連結貸借対照表

■ 貸借対照表 主要変動項目

(単位:百万円)

資産の部	2012/3	2012/9	増減
現金及び預金	24,752	26,131	1,379
受取手形及び売掛金	17,285	15,706	-1,579
ゲームソフト仕掛品	22,373	23,922	1,549

(1) 受取手形及び売掛金

前期末に発売した大型タイトルの売掛金回収が進み、減少

(2) ゲームソフト仕掛品

大型タイトル発売も、開発ラインナップの拡充に伴う継続的な増加

(単位:百万円)

負債の部	2012/3	2012/9	増減
短期借入金	7,259	11,546	4,287

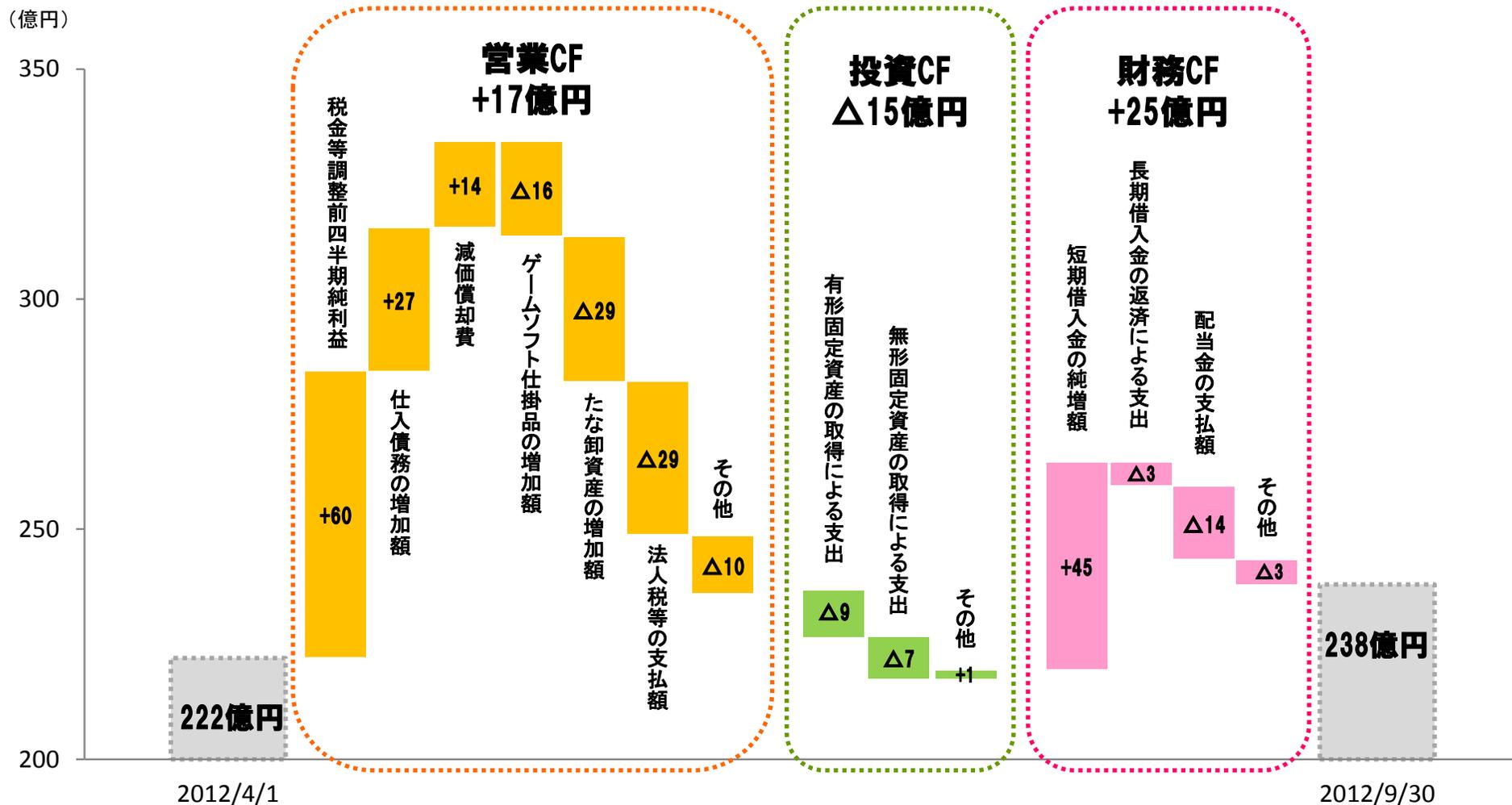
(3) 短期借入金

新規借入の実行による増加

3. 2013年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

2013年3月期第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

■ 2012/9 キャッシュフロー計算書 増減要因





CAPCOM